

12月4日：5週連続の上昇後、マーケットの上昇は弱まるかもしれない

ベトナムの株式市場は記録的に高い流動性から5週連続で上昇したが、投資家の警戒感に加え、VN指数が1,030ポイントの抵抗水準に近づくとつれて上昇が弱まるだろうとアナリストは述べた。

ホーチミン市場のVN指数は金曜日0.17%高の1021.49ポイントで引けた。

VN指数は先週1.12%上昇した。

先週の各取引の平均で5億7,460万株以上がホーチミン市場で取引され、売買代金は11兆6,000億ドン（4億9,970万USドル）だった。

VN指数が1,030ポイントの抵抗水準に近づくと伴い、マーケットの上昇の勢いは弱まっていたと、SSI証券（SSI）のアナリストは述べた。

大型株から中型株への資金流入はリスク増大の警告の兆しであるかもしれない。しかし短期的にVN指数は上昇し1,030～1,040ポイントを目指す展開が続くそうであると、SSI証券は述べた。

MB証券（MBS）によると、売り圧力は主に優良銘柄に集中するが、国内資金がこの売りをよく吸収した。

VN指数が1,030ポイントに近づくと、ホーチミン市場は変動が激しくなるだろう予想するとMB証券は述べた。

警戒がわずかに高まった先週に比べ、わずかな出来高の増加を伴い、マーケットは5週連続で上昇したと、サイゴンハノイ証券は述べた。

「先週VN指数は2018年10月、2019年11月の高値である1,020～1,030ポイントの強力な抵抗線で引けたので、今週利益確定の圧力はより強くなり、調整がすぐに起きるかもしれない」とサイゴンハノイ証券は述べた。

外国人投資家の売り越しは1930万株で、金額にして368億ドンの売り越しだった。特にホーチミン市場で外国人投資家は前週比71%減の750億ドンを売り越した。

ホアファットグループ (HPG) が 1.9%高、ナムキム鉄鋼 (NKG) が 7%大幅高したおかげで建材関連株は先週、最も値上がりした。

ペトロベトナムガス (GAS) が 2.4%高、PV パワー (POW) が 12.7%高で、公益関連が続いた。

マッサングループ (MSN) が 2.7%高、サイゴンビール・アルコール飲料総会社が 5.5%高、ハノイビール・アルコール飲料が 4.4%高で、消費関連が (値上がりで) 3 番目につけた。

SSI セキュリティーズ (SSI) が 3.6%高、VN ダイレクト証券 (VND) が 2.7%高、ベトキャピタル証券が (VCI) が 2.2%高、サイゴンハノイ証券 (SHS) が 2.2%高と証券株も強く上昇した。

今週、VN 指数は 1,020~1,030 ポイントの抵抗帯に現れる利益確定の圧力によって調整するだろうとサイゴンハノイ証券は予想する。

資産に占める株式保有率の高い投資家は 1,020~1,030 ポイントの抵抗帯で利益を確定するようと、サイゴンハノイ証券は勧める。

バオベト証券の株式アナリストである Tran Xuan Bach 氏によると、VN 指数は 1,028~1,035 ポイントの強い抵抗線に向かっている。

「しかしこの抵抗線はこの指数への調整と変動圧力をもたらすかもしれないと我々は評価します。逆に 985~990 ポイントへと下がれば、短期的に反発するだろう」と彼は話した。

「マーケットは株式セクターごとにまちまちの動きを続けるだろう。資金は利益を探し求めまだ大きく上昇していない株式セクターに流れ込み始める」と彼は述べた。

「株への投資比率は 50%で維持されるべきだろう。投資家はマーケットが不安定な抵抗線に近づいてくるときに新たな買いをするべきではない。高い株式保有比率を持つ投資家は 1,028~1,035 ポイントに指数が近づく時、比率を低下させることを考えるべきかもしれない。

ハノイ市場は、金曜日 HNX 指数が 0.33%高の 152.48 ポイントで引けた。

ハノイ市場は先週から 2.91%上昇した。

7,190 万株ほどがハノイ市場で取引され、売買代金で 1 兆ドンだった。

証券保管センターによれば、11 月時点で国内個人投資家は過去最高である 41,080 口座を開設し、先月から 4,734 口座増えた。今年初めから、個人投資家は合計 329,452 口座を開設、2019 年の口座開設よりも 75.4%増加した。

国内機関投資家が開いた口座数は 10 月から増え、2017 年 12 月以来最大の 123 口座に達した。年初来、国内機関投資家は 2019 年の 821 口座より多い 964 口座を開いた。

11 月の国内投資家による新規口座開設数は 10 月から 13%増え 41,203 口座に達した。年初来、国内投資家は 267 万以上の取引口座を開設した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。